

..... 編集後記 .....

◆ 今月号は、特集「地質情報展2006こうち(その1)」の原稿8編と、一般投稿原稿6編です。特集は昨年9月の日本地質学会(高知)に合わせて開催されたものです。一般投稿原稿は、マレーシア、対馬、桜島、仙台、それにシリーズものと書籍紹介です。

◆ 特集原稿は、まず吉田さんによって全体概要が紹介されています。今回は10周年にあたり、3日間で908名の参加者がありました。藤橋さん・須藤さんは、体験コーナー「砂を観察してみよう」について報告しています。小さな子でも楽しめる携帯用の小型実体顕微鏡を通して、白い砂の正体や桂浜の五色の砂を観察しました。名和さんほかは、四国地域の重力異常図と磁気異常図を紹介しています。そして地質構造との興味深い対応関係を指摘しています。口絵も参照下さい。青矢さん・原さん・坂口さんは、四国の骨組みを作っている変成岩(地下深くで変身した石)、付加体(陸と海の石が交わるころ)、四万十帯(地震発生体)について、ダイナミックな説明をしています。坂野さんは地学クイズを作って、見学者を楽しませています。私も挑戦しましたが、2問間違いました。長さん・樽沢さんは、生活の中で見かける身近な花崗岩を紹介しています。偏光シートを使った薄片観察は、とても面白そうです。口絵も参照下さい。中島さんほかは、人気プログラムである体験コーナー「自分だけの化石レプリカを作ろう」で、今回はアンモナイト、三葉虫、三角貝、ピカリヤを作ったことを報告しています。森田さん・倉本さん・池原さんは、南海付加帯の地質構造を、日米共同研究で取得した三次元反射法地震探査のデータを基に三次元アニメーションで紹介

しました。その他、口絵に四国地域の地質年表と体験・展示コーナーの概要がまとめられています。ご参照下さい。

◆ 内田さん・高田さん・渡辺さんは、東南アジアで最初のジオパークに指定されたマレーシア、ランカウイ島の地質・植物・動物・伝統文化などの特徴を紹介しています。

◆ 須藤さんは、長崎県対馬の石文化について報告しています。あまり知られていない対馬の開削工事の歴史のほか、長石・白土・陶石鉾山、石垣の石、屋根石、硯石、浜辺の砂礫など、石に関する記事を紹介しています。

◆ 津根さんは、地元の人に火山を楽しんでもらうために、桜島西部の溶岩なぎさ遊歩道での散策ツアーを企画しました。その様子をアンケート結果も交えて紹介しています。

◆ 高橋さんほかはサイエンスキャンプ2007春「地球の診断～仙台市郊外で地質の調査～」を紹介しています。将来の地学研究者獲得に貢献しそうです。

◆ 山口さんはシリーズ「地質調査のパートナー」で、陸上反射法探査の位置決めに使っているホイールメジャと巻き尺について紹介しています。

◆ 清水さんは「岩石と宝石の大図鑑」の書籍紹介をしています。

◆ 今月号は、地学が持つ多様性とそれらの相互関係の面白さを、いろいろな地域から報告しています。また同時に、地学に係わる研究者が、その普及に頑張っている姿も伝えています。今後とも、引き続きご支援の程、よろしくお願い致します。(玉生志郎)

地質ニュース編集委員会

委員長：玉生志郎

副委員長：吉田朋弘

委員：藤原 治・光畑裕司・高木哲一・

七山 太・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース

第637号 2007年 9月号

定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費

2007年9月1日 発行

編集

産業技術総合研究所

発行人

株式会社 実業公報社

発行所

代表者 林 光生

株式会社 実業公報社

東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073

Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952

http://www.jitsugyo-koho.co.jp

E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp

振替口座 00110-6-32466

麹町局私書箱第21号



表紙右下のロゴについて：地質調査総合センターは、国際惑星地球年(IYPE)に賛同し、活動を支援しています。

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

●地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

©2007 Geological Survey of Japan